学校番号	119

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『新編古典Ｂ』（東京書籍）						
副教材等	『古典Ｂ』（教育出版）、 『最新国語便覧』（浜島書店）、 『やさしくくわしい古典文法』（尚文出版）』、 『Look@古文単語 337』（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ

・古典は予習教科です。まず本文を一読、ペン書きで本文をノートに写し、単語の意味を調べ、現代語訳を考えてから、授業に臨むこと。
・ノートは、テスト前の復習の際にすべてわかるように書き込みをすること。提出するのはもちろんですが、提出のためのノートではありません。テストが終わってから他人のノートを写すのは、目的をはき違えています。文法書き込みやイラストなど、自分ためのノート作りを工夫しましょう。
・１年生、２年生で学習してきたことをもとに、３年生では更なる発展を目指します。人物関係や時代背景などについて「理解」し、逐語訳は基本ですが、柔軟な視野を持って大意をつかむことも望まれます。
・古文を学ぶ意味は、日本文化の「伝統に親しみ」、当時の出来事や人々の心情について学び、今後の人生に活かしていくことです。単語や文法、文学史の「知識の習得」だけなく、その文章にふさわしい暗誦や立体的な音読によって、「話す・聞く能力」を養い、豊かな表現力につなげましょう。
・漢文は入試にあまり関係しませんが、歴史の中で日本文化に深く入り込み、影響を受けているものです。優れた論旨の展開や比喩など、学ぶことは多いので、論述の参考にしましょう。
・文系・グローバルコースを選択した皆さん、古典はこれまで面倒くさいものだったかも知れませんが、授業で少しでも接して歴史ある文化を楽しんで下さい。高校３年間で得た古典の知識が、人生の中での日本文学、文化の習得に役立ちます。その文章が、本質的なテーマが、自然に口を衝いて出てくるのが教養です。一生の財産になるはすです。テストのための古典だけではなく、美しい便覧の写真や記述に親しみ、本当の教養を身につけて下さい。

2　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典の文章を的確に読み取り、豊かな想像力を磨くことで、古典作品の内容を具体的に理解しようとする姿勢を身につける。
・漢文に裏打ちされ、独特の発展を遂げた日本文化について、作品を「読むこと」を通して学び、自分で意見感想を「書くこと」を通して確認、更に今後のグローバル社会への展望を図る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字・語彙などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート。ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート。ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話・随筆	古文の読解方法を確認し、主体的に学ぶ大切さを理解する。	◎			○	○	a：古典文学に「関心」を持ち、予習ノートをきちんと作成する。以下同様。 d：正しく作成したノートを確認し、文章を的確に「読み取る」。 e：単語小テストの一年間の計画を確認し、合格するように学習する。以下同様。	a:行動の観察 d:記述の確認 e:記述の確認 定期テスト 小テスト
	物語	登場人物それぞれの人物像を理解し、ドラマチックな話の展開をつかんで理解する。	○				◎	a：登場人物に対する「関心」を深める。 e：想像力を働かせ、自分で古文を読み進める。	a:行動の観察 :記述の確認e:記述の確認 定期テスト 小テスト

2学期	漢文	漢文の訓読法を確認し、内容について味わう。	◎				◎	a：書き下し文を正確に書き、訓読のルールを確認する。。 e：bを通して漢文法の「知識」につなげる。	a:行動の観察 b:行動の観察 e:記述の確認 定期テスト 小テスト
	物語・評論	人物に関する知識を深め、特有の文体を理解しつつ、正確な読解をする。	◎			○	◎	a：登場人物に対する「関心」を深める。 d：内容を正確に理解するとともに、具体的な想像力を働かせて現代語訳する。 e：当時の背景である文化や教養について、「知識を深め、正確に理解」する。	a:行動の観察 d:記述の確認 e:記述の確認 定期テスト 小テスト
3学期	随筆・評論	高校3年間の古典の集大成として、自力で内容を読み解く。グローバル社会を生きる上で、伝統的な日本文化の奥深さや意義について考えを深める。	◎				◎	a：教養としての古典文学に関心を深める。 e：伝統的な日本文化の、知識や理解について、総復習する。	a:行動の観察 c:記述の確認及び分析 e:記述の確認 定期テスト 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。